

- イラスト、画像が実物と異なる場合があります。
- アンテナとケーブルは正しく接続してください。正しく接続しないと正常に動作できません。モニターに表示させながら接続する方法をお勧めします。
- 接続するモニターの機種によっては正しい色を再現できない場合もあります。

## 安全上のご注意

- 安全のため、取り付け・結線作業の前にこの【取付説明書】をお読みの上、正しく作業してください。
- お読みになった後はいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

## 絵表示について

この取付説明書では製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々へ危険や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。


### 警告


この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。

### 注意

この絵表示の記載事項を守らないと、人が障害を負ったり、物の損害が発生する恐れがあります。

## 絵表示の例

 この記号は、注意(警告を含む)をしなければならない内容です。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指狭まれ注意)が描かれています。

 この記号は、禁止(やってはいけないこと)する内容です。

 この記号は、必ず行っていただきたい内容です。

## 作業をはじめる前に

- 取り付ける車のバッテリー電圧を確認する....**  
本製品はDC12Vまたは24V用として設計・製造されています。その他の用途で使用される場合は、保証期間内であっても無料修理の対象外となります。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側コードを外す.....**  
ショートによる感電や、けがの原因となります。

## 構成部品

### 1. 本体関係

チューナー本体 1個



リモコン 1個



リモコン受光部 1個  
ケーブル3m



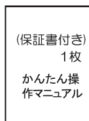
miniB-CASカード 1枚



ケーブルセット



かんたん操作マニュアル  
(保証書付き)



パネル用予備ネジ×2  
(ドライバ×1)

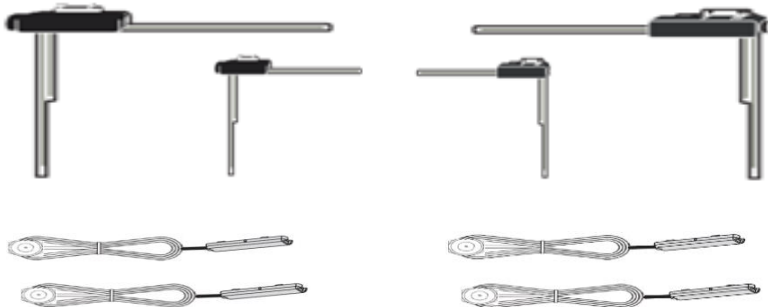


本体取付用ネジ×4



フロントガラス用アンテナ(左右)ケーブル長さは3m × 2PCS)

リアガラス用アンテナ(左右)ケーブル長さは5.5m × 2PCS)



## 取り付け場所について

### 警告

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、システムの動作に影響する位置に取り付けられない...**  
エアバッグが正常に動作しないと、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- 本機を次のような場所に取り付けられない...**  
前方の視界を妨げる場所/シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所/  
同乗者に危険を及ぼす場所/エアバッグシステムの動作に影響する場所  
運転操作を妨げたり、はずれたりして、ケガや交通事故の原因となります。

### 注意

- 雨が吹き込むところなど水のかかるところや、湿気、ほこりの多いところへ取り付けられない...**  
本機に水や湿気、ほこりが混入すると、発火や発煙の原因となります。
- 振動の多いところなど、しっかりと固定できないところに取り付けられない...**はずれて、ケガや事故の原因となることがあります。
- 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ、また本機の通風穴や放熱部をふさぐ場所に**  
**取り付けられない...** 本機内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本体を車のフロアマットの下や、密閉された場所に設置しないでください。**  
....誤動作や故障の原因となります。

## 取り付けの注意

### 注意

- 必ず付属の部品を指定通り使用する....**  
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずにははずれたりして、事故や故障の原因となることがあります。
- 車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、ガソリンタンクなどの重要保安部品は絶対に使用しない...**  
これらを使用すると、制動不能や故障、発火の原因となることがあります。
- 車体のビスを使用して取り付けを行うときは、ネジがゆるまないように確実に締め付ける...**  
ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となることがあります。

## 結線の注意

### 警告

- コード類は、取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめておく...**  
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。
- 接続コード類の配線は高熱部を避けて行う...**  
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。
- エアバッグシステム装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの動作に影響する場所に配線しない...**  
エアバッグが正常に動作しないと万一のとき、事故やケガの原因となります。

### 注意

- 正規の接続をする...**  
誤った接続をすると、火災や事故の原因となることがあります
- コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで固定する...**  
コード類が車体部分との接触によりすり切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
- 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部に配線を挟み込まない...**  
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

## フィルムアンテナ貼り付けについて

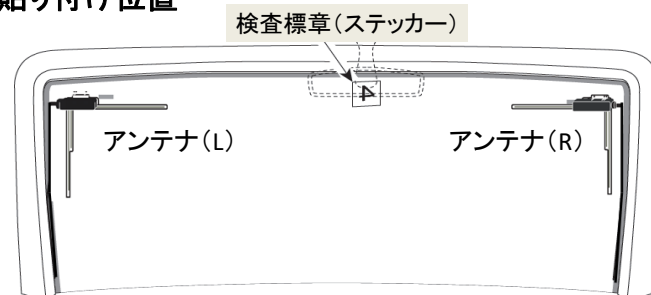
### 1. 貼り付け上の注意

- 保安基準※に適合させるため、本書をよくお読みになり正しく取り付け下さい。  
※保安基準とは道路運送車両の保安基準第29条第4項第6号に対する、平成15年9月26日付けの運輸省(現、国土交通省)令第95号をいいます。
- 車室内に貼り付けるアンテナはエアコンモーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが故障ではありません。
- アンテナはウインドウに貼り付ける専用です。ウインドウ以外の場所にははりつけしないで下さい。
- 車種によっては貼り付けられない場所があります。その場合は販売店に確認してください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不適合ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には受信感度が極端に低下します。その場合はお買い上げ販売店に確認してください。
- 必ず社内の貼り付け場所に市販のテープなどでいったんフィルムアンテナを仮止して、お使いのラジオやテレビにノイズなどが入らないか確認してください。ノイズが入る場合はフィルムアンテナの位置を調節してください。
- フィルムアンテナの透明フィルムやホルダーの裏シートを剥がした後は、金属接点などに手を触れないでください。静電気による故障や汗などの汚れで接触不良の原因となります。
- ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には貼り付けることができません。
- 必ずウインドウの指定された位置、寸法内に貼り付けてください。
- フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り付け付けてください。
- 作業場所は風がなく、空気中にゴミ、ほこりなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低い時に作業を行う時には、接着力の低下を防ぐため車内にヒーターやデフロスタースイッチをONにしてウインドウを暖めてから作業を行ってください。
- 一度貼り付けてから剥がすと粘着力が弱くなるので、貼り直しできません、必ずコード及びフィルムアンテナを仮止めしコードの引き回しなどを十分に確認してから 貼り付けてください。

## 次のような場所では映りにくいことがあります

- ビルとビルの間
- 送電線が近くにある場所
- 放送局から遠い場所
- 山かけや木立のかけになる場所
- 上空を飛行機が通過または、電車が近くを通過している場所
- 自動車、バイク、高圧線、ネオンサインなどが近くにある場所
- ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナが近くにある場所

### 2. フィルムアンテナ貼り付け位置

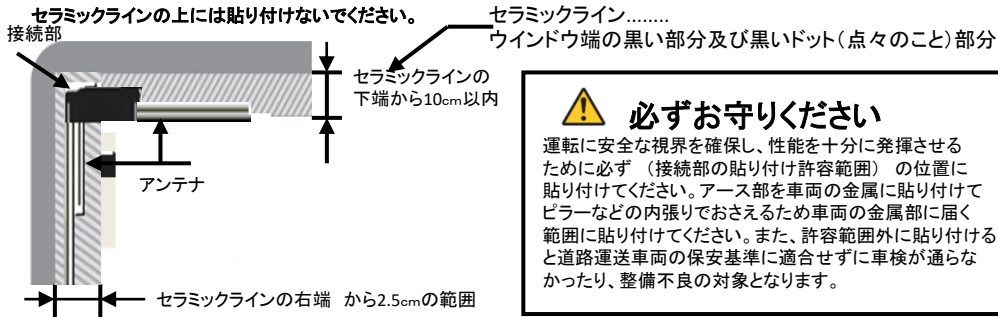


※上図はフロントウインドウ内側にアンテナ貼り付け位置です、リアウインドウもこの図を参考に貼り付けてください。  
※アンテナ(L)、(R)は、車正面から見たときの左右を表します

# フィルムアンテナ貼り付けについて

イラスト、画像が実物と異なる場合があります。

## 3. 貼り付け許容範囲について

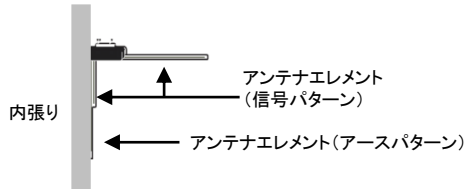


給電端子は必ず取り付け許容範囲内(斜線部)に取り付けてください。取り付け許容範囲外に取り付けると車検の時に不適合となります。

## フィルムアンテナ貼り付け

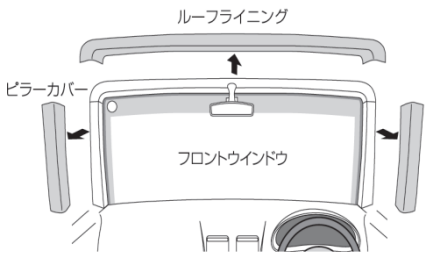
### 1. アンテナの仮位置を決める

- アンテナ貼り付け位置、取り付け許容範囲についてを参考して仮位置を決めてください。
- アンテナの貼り付けの際、車内の内張り(ピラー、ルーフィニングなど)に接続部が当たらないように仮位置を決めます。



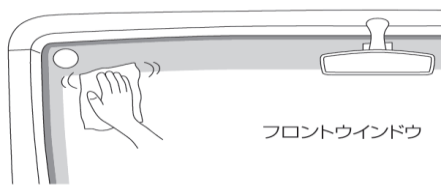
### 2. 車内の内張り(ピラー、ルーフィニングなど)を取り外す

- コードを引き回す仮位置を決める



### 3. ウインドウ内側の汚れ、油などを取り除く

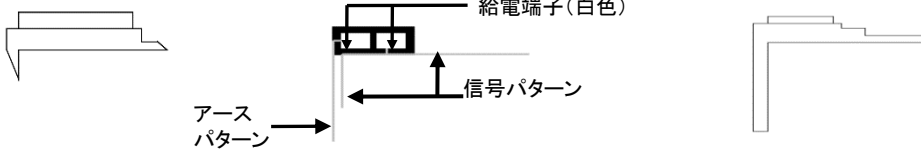
- アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを付属のクリーナーで取り除いてください。



### 4. フィルムアンテナの構成と剥離紙の剥がし方

- アンテナは3層に分かれています。
- ※アンテナの表に透明フィルム、裏に剥離紙が貼ってあります。
- エレメントの銀色部が給電端子です。

表: 透明フィルム

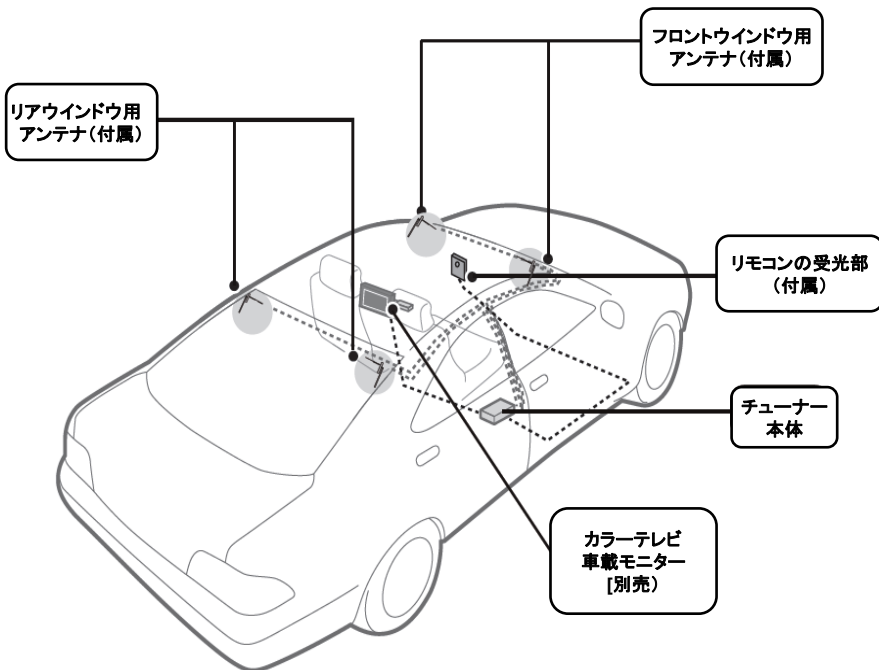


※ルーフィニングやピラーカバーを取り外す場合は十分注意して作業してください。専門のお店で作業してもらうことをおすすめします。

## リモコン受光部の取り付け

### 1. 取り付け上のご注意

- リモコン受光部を貼り付ける場所の汚れをきれいに拭き取ってからリモコン受光部を貼り付けてください。
- リモコン受光部の裏面のシールを剥がして、センターコンソール(下図のように)など平らな面に貼り付けてください。



※必ずお守りください

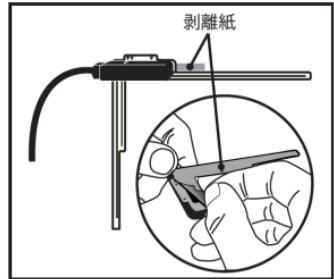
- 本体、リモコンやリモコン受光部を直射日光の当たるダッシュボードの上には、絶対に取り付けないでください。高温により変形や故障する恐れがあります。
- リモコン受光部はリモコンの信号が届く範囲内に貼り付けてください。
- 本体を車のフロアマットの下や、密閉された場所に設置しないでください。誤動作や故障の原因になります。

※上図の取り付け方法は参考用ですので、取付の際は実際の状況によってお取り付けください。

## 5. アンテナをウインドウに貼り付ける

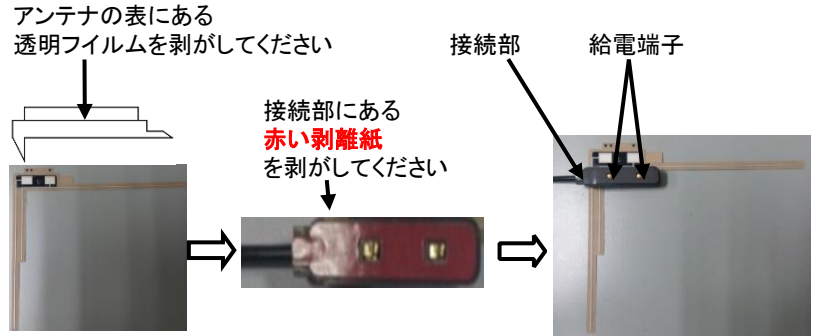
貼り付ける面の剥離紙をはがします。  
左上に貼り付けます。

- ※黒い面を車内に向けて貼り付けてください。
- ※図は車内から見た左側です。右側貼る方法は左側と同じです。

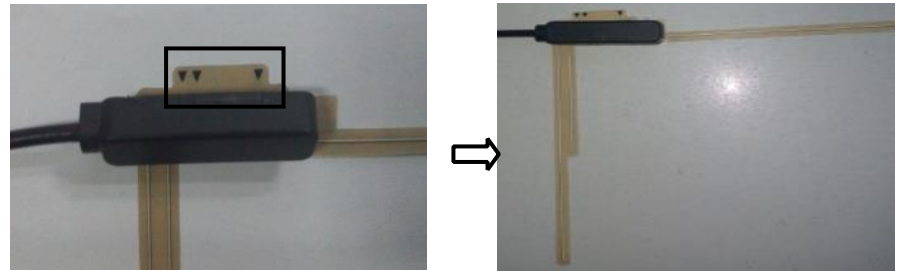


## 6. 接続部をエレメントに貼り付ける

- アンテナの表に貼っている透明フィルムを剥がしてください。
- 接続部の裏面にある剥離紙をはがします。
- アンテナの▼▼と接続部のIIが合うように、アンテナの▼と接続部Iが合うようにして図のような向きで接続部をアンテナに貼り付けます。このとき、給電部の端子がアンテナの接点(白い部分)になるように、位置を合わせてください。



アンテナの▼▼と▼と接続部のIIと位置を合わせてください



注意: 接続部の穴から給電端子部が見れることを確認してください。  
・貼り付けをくり返すと、はがれの原因になります。

## 接続の方法

### 1. システムの接続

- ・下図のように付属のコードを本体に接続してください。
- ・アンテナは、フロントガラスとリアガラスそれぞれ左右に貼ってください。アンテナのプラグは本体のアンテナ端子に接続してください。
- ・リモコン受光部はリモコンが届く範囲に設置してください。
- ・付属のminiB-CASカードをカチッとロックするまで差し込んでください。(表裏逆に挿入するとテレビは受信できませんので、ご注意ください。)
- ・AV出力をモニターやナビなどの入力端子(RCA)へ接続してください。
- ・最後に電源ケーブルを車のACCボックスに(+12Vまたは+24V) 配線します。電源ケーブルを本体電源入力端子に差し込んでください。

